

# 進路ニュース

2025年度 5月号 No.316



茨城県立土浦湖北高等学校

進路指導部

入学・進級から1か月が過ぎました。新担任との面談が終わり、放課後の課外授業も始まりました。新年度が本格的にスタートした今、改めて今年度の目標を思い起こしてください。その目標達成のために、今すべきことは何か？自分の現状と課題を把握し、毎日の授業や家庭学習にどう取り組むべきか考えてみてください。また、今月21日からは定期考査Ⅰが実施されます。1年生にとっては初めての定期考査となります。しっかりと対策をして試験に臨んでください。

## 《 進路決定に向けた活動の目安 》

### ◎1年生 ～ 予習→授業→復習 のサイクルで高校レベルの学習スタイルを身に付けよう ～

高校生活には慣れてきたでしょうか。「慣れ」は「ゆるみ」につながりやすいので、注意が必要です。特に学習に対する取組みが疎かになる人が出てきます。学習内容が比較的やさしく余裕のある今のうちに、予習→授業→復習のサイクルを身に付けましょう。中学校の学習内容に自信のない人は、まずスタディサポートの復習をするのも効果的です。そして定期試験や模擬試験ごとに目標を立てて、計画的に学習に取り組むようにしましょう。テスト後の復習も忘れず！

なお、部活動の試合で授業を数回抜けたことがきっかけとなり、授業がわからなくなってしまうことがあります。そのままにしておくとその教科が苦手となり、文理選択や将来の進路選択にも影響します。家庭学習をしっかりとすることや、友達や先生に質問するなど、公欠した授業に対しても各自で必要な対策を取ってください。好きな部活動をしている分、学習面でもそれに見合った努力が必要です。

### ◎2年生 ～ 家庭学習の量・質の確保と体験活動を ～

学習スタイルの確立は順調でしょうか。部活動や生徒会活動で中心となる一方、授業内容も文系・理系それぞれの専門的分野がかわって難易度も高くなっていきます。“時間が足りない”と感じている人も多いのではないのでしょうか。毎日のルーティーンに家庭学習をしっかりと組み入れて、まずは「学習量」をしっかりと確保しましょう。それができたら次に「質」の向上を図ります。暗記中心ではなく、本質を理解して考える学習ができるといいですね。

オープンキャンパスやインターンシップ、看護体験等への参加など、進路研究も必要です。ボランティアなどの自主的な活動も大変おすすです。さまざまな体験を通して自己理解が深まり、進路希望がより明確になるはずです。

### ◎3年生 ～ 逆算してプランニング、夏休みまでに基礎力完成を ～

ライバルは湖北生ではなく全国の高校生です。自分の周囲に合わせたのんびりとしている間に、他校の生徒は必死に努力を始めています。自分の希望を叶えるために、すぐに努力を始めましょう。

公務員希望者は6月から、就職希望者は7月から、申し込みや試験対策がスタートします。担任の先生との面談や保護者の方との話し合いをしっかりと行い準備を進めてください。

進学希望者は、総合型選抜や学校推薦型選抜、一般選抜などの様々な入試方法がありますが、自分に合うものを検討できていますか。また、入試科目の確認と受験に対応できる学力の基礎固めが必要です。夏休みが終わるまでに苦手分野の克服と基礎力の完成を目指して計画的に受験勉強を進めてください。気分転換に、志望する専門分野の本を読むのもお勧めです。

## 《 5月の進路関係行事 》

2日(金)	第2回公務員講座
16日(金)	第3回公務員講座
21日(水)～23日(金)	第1回定期考査
24日(土)	共通テスト模試・看護模試 就職・公務員模試①(3年)
31日(土)	実用英語検定①

## 《 6月の進路関係行事 》

6日(金)	第4回公務員講座
17日(火)	進路ガイダンス(3年)
20日(金)	進路学習調査
	第5回公務員講座
24日(火)～27日(金)	第2回定期考査
28日(土)	漢字検定①



## 進路希望の決め方のヒント

自分の進路希望をどのように決めていけばいいか、イメージできない人もいますでしょう。いくつか考え方のヒントをまとめてみました。参考になればうれしいです。

### 考え方1：就職か進学か

いずれにもメリット、デメリットがあります。しっかりと検討して、自分の将来像と合致する方を選択しましょう。メリット、デメリットの例を挙げてみます。自分にとってはどうなのか、考えましょう。

**進学**…自分の興味関心のある専門分野の知識や技能が身に付けられるが、学費等がかかる。

**就職**…即戦力として働き給与や福利厚生を得られるが、生涯賃金が大卒より低くなる傾向がある。

### 考え方2：将来の働く自分を想像する

進学・就職のどちらの場合でも、自分の将来の働いている姿をイメージすることは大切です。どのような仕事をしているのか、どのような生活スタイルで働いているのか、働くうえで大切にしたいことは何か、社会にどのように貢献したいか…。働くことを想像すると、それに付随して自分の価値観を意識するでしょう。

この想像が就職に直結することもあれば、なりたい自分になるためには資格や知識が必要だと気づき、進学を決心することもあると思います。

### 考え方3：就職先・志望校選び

就職希望者は、昨年度の求人票を見るなどして、どのような企業が、どのような職種で高校生を募集しているかを知りましょう。気になる会社があったら調べてみるのもいいですね。身近な会社でも、意外と知らないことがたくさんありますよ。また、働くことのイメージをより明確にするために、インターンシップはとても有意義です。最終的には3年生の夏に職場見学をして就職希望先を決めることになります。

進学先には専門学校と大学・短大があります。専門学校（と一部の短期大学）は資格や技能を身に付け、即戦力として社会で活躍するために学ぶ学校です。大学・短大はより幅広く教養を身に付けることができ、様々な面で自主性が重視される学校です。進学希望者には、学びたい分野、身に付けたい技能、取得したい資格などがあるはず。それが叶う学部・学科を調べてみましょう。その次に学校を調べます。ただし、入試難易度や知名度だけで学校を選ぶのは危険です。大学等を中退する大きな原因の一つが、「イメージと違った」などのミスマッチです。受験前に自分の目的や性格に合った学校かどうか、オープンキャンパスなどを利用してあらかじめ自分自身の目でしっかりと確かめることが重要です。複数の学校で迷ったら、比較するポイントがいくつかあります。自分にとって譲れない条件を考えてみましょう。

〈比較ポイントの例〉

- |              |                      |
|--------------|----------------------|
| ・カリキュラムの特徴   | ・学費および奨学金や学生支援の充実度   |
| ・教員の研究内容     | ・キャンパスの雰囲気、施設・設備の充実度 |
| ・就職や上位学校進学状況 | ・学生数（入学者数・退学者数）      |

いかがだったでしょうか。

進路の選択は、人生における大きなターニングポイントです。「勉強したくないから就職しよう」「苦手科目と関わりのない分野にしよう」「成績がこのくらいだから偏差値的にこの学校かな」などと、ネガティブな基準だけで進路を選択してしまうのは本当にもったいないです。自分の人生をどう生きるか、前向きに考えましょう。

このほかにも、「探究」の授業で調べたり考えたりすることで、自分の興味関心や価値観に気づききっかけとなり、進路希望に結びつくこともあるようです。いずれにしろ、自分のことを理解しようと考え、自ら行動を起こすことがきっかけとなります。行動をはじめのには早すぎることも、遅すぎることもありません。今できることを始めましょう！